

エコノミクス部

今年も、原子力発電
所再稼働の是非が、全
国各地で問われるでし
よう。

議論のポイントは安
全性ですが、私は現在
の議論の中に、「何の
安全性を確認すべきな
のか？」という視点が

欠けていることが気に
なっています。

一般的に「原発
の安全性」という
と、多くの人は、
原子力発電のプラ
ントという巨大な
装置が地震や津波
で壊れないか、と
いう「ハードの安
全性」をイメージ
します。

人絡みの安全性も重要

しかし事故の際
には、「万が一の
場合の対応策を策
定している地元の
市長や市役所は、
高いプレッシャーが
かかる非常時でも、
住民判断力や指導
力など、適切な誘
導ができる「人絡
み」の安全性が確
保されることも非
常に重要なのです。

ほかに①電力会社
は事故の際に対応
に当てる専門家や
作業員を十分に確
保できているのか？
②政府でリーダー
シップを取る人は、

原発について十分に理
解しているのか？③ど
のような状況になれば
避難命令を出すのか決
まっているのか？④メ
ルトダウンや大爆発の
可能性など、悪い情報
を国民に伝える覚悟は
できているのか？—な
どの点も気になるとこ
ろです。

原発の安全確保には
「機械が十分に頑丈
か」「堤防が十分に
高いか」などハ
ードの安全性に加
え、「専門知識が
あり、誠実で勇気
ある人物が権限を
持っている、万が一
の事態に十分に
備えているか」と
いったソフト面も
問われるべきなの
です。

原子力発電に関
して、日本は国際
的に高い技術力を
持っているといわ
れます。では、非常
時の判断力や指導
力など、適切な誘
導ができる「人絡
み」の安全性が確
保されることも非
常に重要なのです。
今求められているの

は、万が一の際に指
導力を発揮すべき組
織や人に対する「ス
トレステスト」な
のだと思います。
(コラムニスト
・ちきりん)